記者発表資料

平成２６年　３月１４日
国　土　交　通　省
福島河川国道事務所
山形河川国道事務所

栗子トンネル(仮称)貫通式を3月22日に開催

２月５日にお知らせしたとおり、**栗子トンネル（仮称）の貫通式を３月２２日１０時より**トンネル坑内で開催致します。

取材等をご希望される報道機関の方は、**当日の朝９時までに受付までお越し下さい。**受付から会場までマイクロバスに乗り換えて２０分程度要しますので、集合時間にご注意ください。

記

１．式典日時：平成２６年３月２２日（土曜日）
貫　通　式：　１０：００～１１：００頃
貫通祝賀式：　１１：００～１２：００頃

２．式典ならびに祝賀式会場
：福島県福島市飯坂町中野（いいざかまちなかの）地内・山形県米沢市万世町刈安（ばんせいちょうかりやす）地内
（栗子トンネル坑内　山形県・福島県県境）

３．主　　催：　貫　通　式：清水･大豊特定建設工事共同企業体(福島側)
三井住友建設株式会社(山形側)
貫通祝賀式：福島市、米沢市、
清水･大豊特定建設工事共同企業体(福島側)
三井住友建設株式会社(山形側)

４．集合場所及び時間：当日９時までに福島側または山形側の受付にお越し下さい。場所は別紙１を参照下さい。

５．そ の 他：式典内容等は別紙２を参照下さい。貫通式の前半（通り初めまで）は、福島県側及び山形県側それぞれの会場で実施します。

【栗子トンネルの概要】
所　在　：福島県福島市飯坂町中野（いいざかまちなかの）　地内　～　山形県米沢市万世町刈安（ばんせいちょうかりやす）　地内
延　長　：８，９７２ｍ
幅　員　：９．５ｍ(1.25＋3.5＋3.5＋1.25)　車線数　：２車線

【発表記者会：福島県政記者クラブ、山形県政記者クラブ、福島市政記者クラブ、
米沢市役所記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会】

問　い　合　わ　せ　先	
国土交通省 《事業に関して》 国土交通省　東北地方整備局 【福島側】福島河川国道事務所 電話０２４－５４６－４３３１(代) 副所長　佐藤（さとう）　利美（としみ）（内線205） 【山形側】山形河川国道事務所 電話０２３－６８８－８４２１(代) 副所長　伊藤（いとう）　啓一（けいいち）（内線205）	《貫通式・施工内容に関して》 【福島側】清水･大豊特定建設工事共同企業体 電話０２４－５２９－７４１２ 所長　新居（あらい）　直人（なおと） 【山形側】三井住友建設株式会社 電話０２３８－２９－０９２１ 所長　牛田（うしだ）　久雄（ひさお）

【福島河川国道事務所HP】URL：　http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/
【山形河川国道事務所HP】URL：　http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/

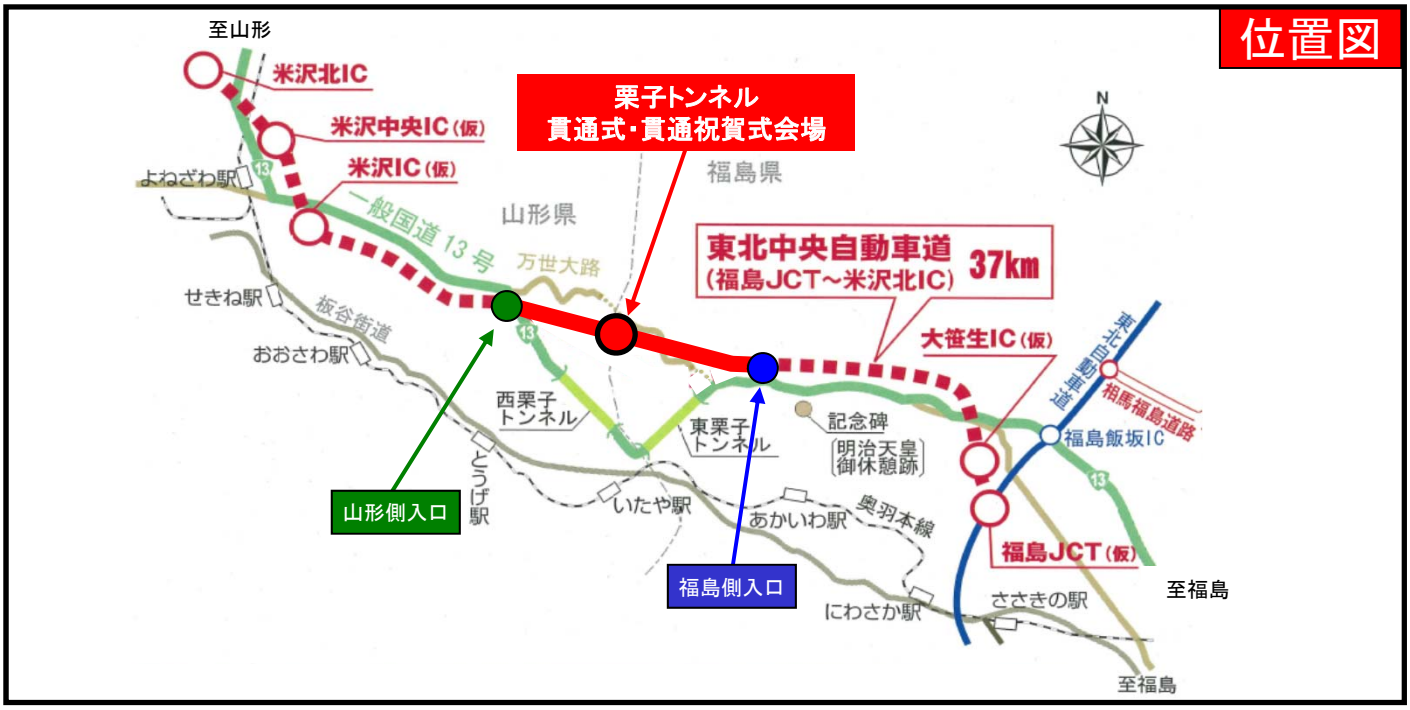
別紙1

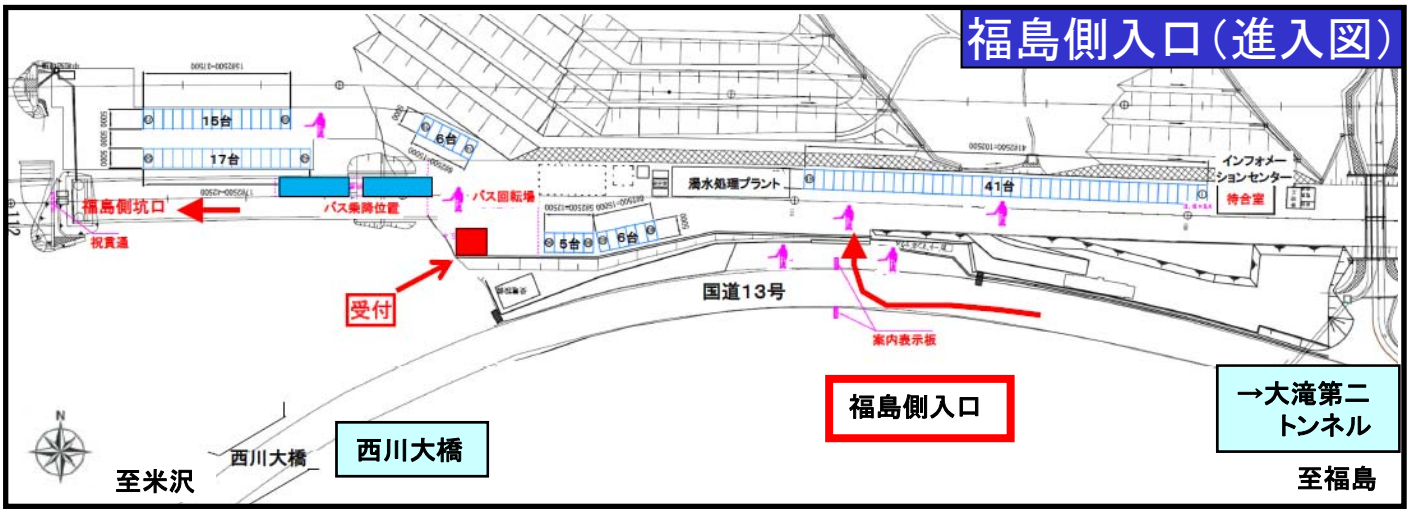
東北中央自動車道（福島～米沢）栗子トンネル貫通式 式典会場位置図

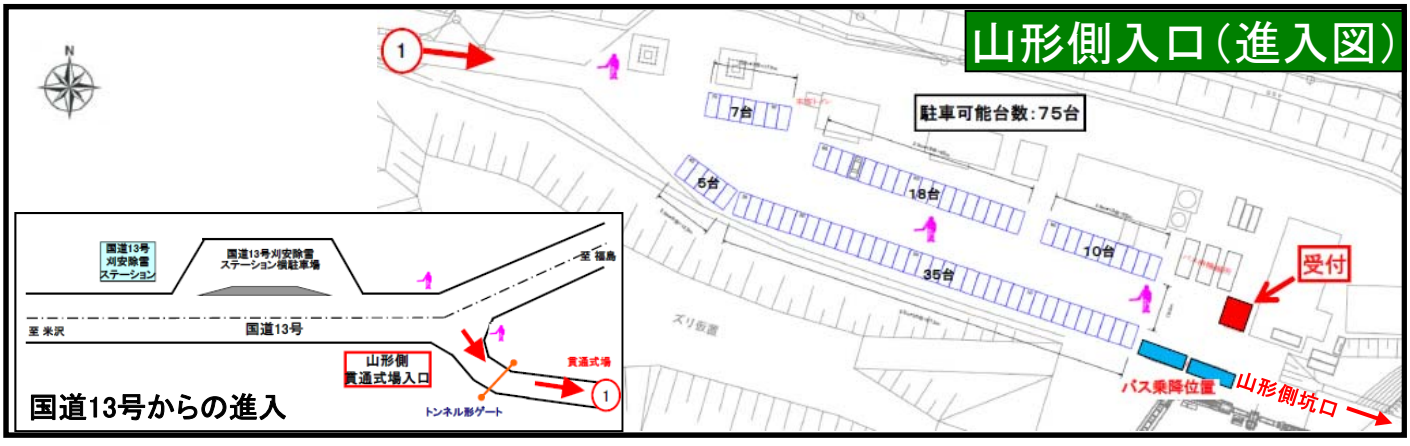
式典会場 ： 栗子トンネル坑内（山形県・福島県県境）

福島側入口 ：福島県福島市飯坂町中野 地内

山形側入口 ：山形県米沢市万世町刈安 地内







別紙２

栗子トンネル貫通式

日時　平成２６年３月２２日（土）
　　１０：００～１１：００
会場　栗子トンネル坑内（山形県・福島県県境）
主催　福島側：清水･大豊特定建設工事共同企業体
　　山形側：三井住友建設株式会社

次　　第

一、開式（※）
一、貫通発破（※）
一、貫通確認・貫通報告（※）
一、貫通点清め
一、通り初め
一、樽神輿入場
一、子供樽神輿入場
一、施工者謝辞
一、閉式

（※）は、貫通点を挟み福島側と山形側で各々開催

栗子トンネル貫通祝賀式

日時　平成２６年３月２２日（土）
　　１１：００～（１時間程度）
会場　栗子トンネル坑内（山形県・福島県県境）
主催　福島市、米沢市
　　清水･大豊特定建設工事共同企業体
　　三井住友建設株式会社

次　　第

一、開式
一、主催者挨拶
一、事業経緯説明
一、来賓祝辞
一、来賓紹介・祝電披露
一、意見発表
一、鏡開き
一、アトラクション（飯坂八幡神社祭り太鼓保存会・万世町梓山獅子踊り）
一、乾杯
一、万歳三唱
一、閉式

東北中央自動車道（福島～米沢北）



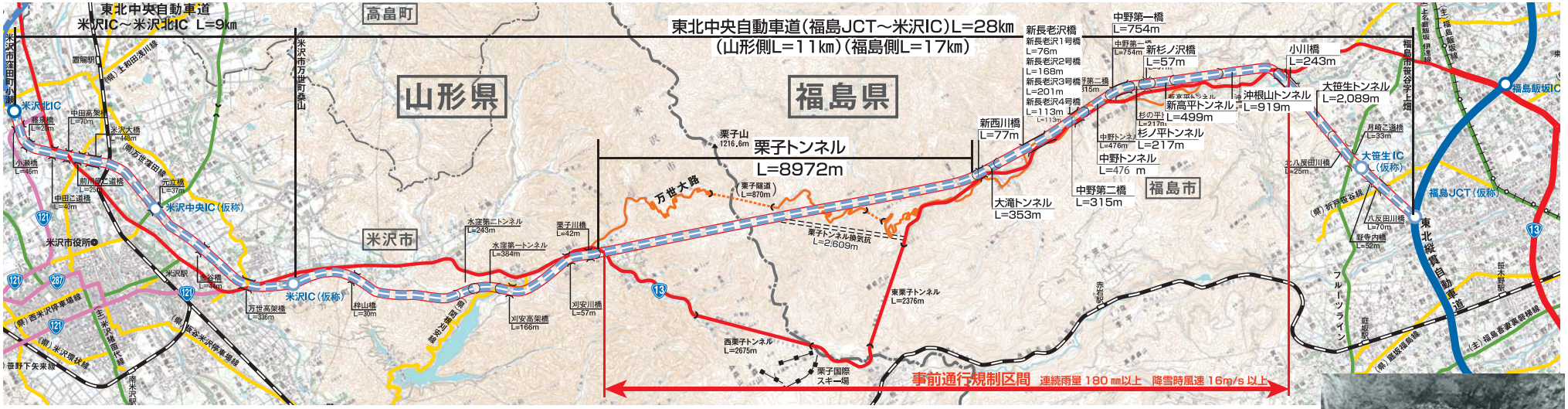
トンネル内の工事
切羽の様子


小川橋(243m)
張り出し工法

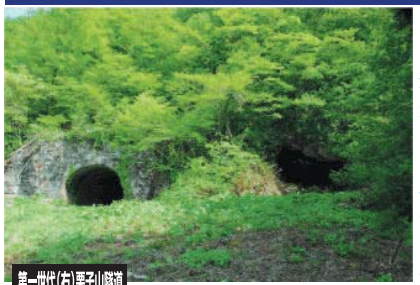


東北中央自動車道
整備区間図
ネットワークはH25.6現在

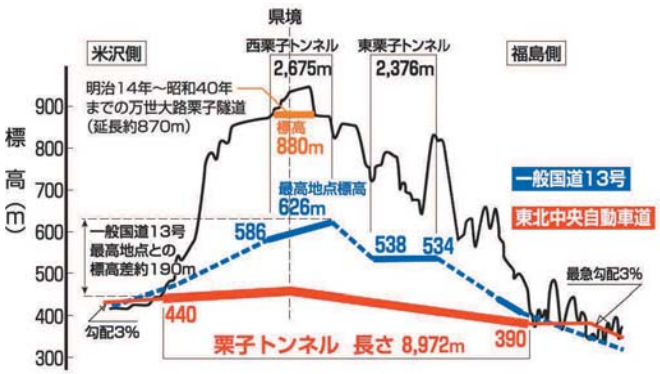
東北中央自動車道（福島～米沢北）（延長37km）は平成10年度に日本道路公団（現在、東日本高速道路㈱）が事業着手、平成15年度から国土交通省が工事を進めています。中でも栗子トンネルは「雪に強く信頼性の高い道路」にするため現在の国道13号より約190m低い位置を通過し、総延長は約9kmとなります。平成29年度の供用を予定しています。



万世大路 ～萬世ノ永キニ渡リ人々ニ愛サレル道トナレ


第一世代(右)栗子山隧道
第二世代(左)栗子隧道

万世大路（明治天皇命名）とは、福島と米沢を結ぶ幹線道路のこと。現在の国道13号は第三世代。東北中央自動車道は第四世代にあたります。常にその時代の最新技術をもって建設されている。平成24年9月に土木学会の選奨土木遺産に認定されました。



■第一世代 栗子山隧道（明治9年8月～明治14年9月）荷馬車のみ可。米国製最新鋭削岩機を投入して工事。
■第二世代 栗子隧道（昭和8年4月～昭和12年3月）栗子山隧道870mのうち810mを活用し拡幅。自動車通行可能だが冬期5箇月は積雪のため通行不可。
■第三世代 現在の栗子道路（昭和36年10月～昭和41年5月）
■第四世代 東北中央自動車道


栗子隧道の工事
昭和9年頃


東西栗子トンネル竣工式
昭和41年5月29日